



学生が企画運営、独自の視点で武蔵大学の魅力を発信 Musashi Web Magazine「きじキジ」

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、高校生や在大学生を対象とした [Musashi Web Magazine「きじキジ」](#)を公開しています。大学生活やキャンパスのある江古田にまつわるさまざまな情報を、形式にとらわれない自由なスタイルで発信しています。学生ならではの視点や、ユニークな発想と行動力でコンテンツが作られているのが特長です。

Musashi Web Magazine「きじキジ」とは

Musashi Web Magazine「きじキジ」は、受験生や在大学生をはじめ武蔵大学に興味を持つ方を対象にした、学生の企画・編集による Web マガジンです。きじ（雉）は、元々武蔵大学のルーツである旧制武蔵高等学校の校章に使われていたもので、現在の武蔵大学のロゴにも使用されています。愛称『きじキジ』は、「雉」と「記事」をかけており、編集部員が考案しました。



「きじキジ」おすすめ記事 PickUp！

2024 年度に投稿された記事です。メディアで活躍中の卒業生へのインタビューや研究室の取り組みなど、ここでしか読めない記事をぜひお楽しみください。

▼石山蓮華さんインタビュー

TBS ラジオ『こねくと』のパーソナリティ、女優、文筆家としても活躍中の石山蓮華さんは武蔵大学の卒業生。電線愛好家としても知られる石山さんに、きじキジ編集部の学生が独占取材を実施。電線写真コンテストから在学中のエピソードまで、盛沢山の内容です。



▼武蔵大学探検隊「宮古島の聖地狩俣、その集落誕生の井戸を追え」！

人文学部日本・東アジア文化学科 石井龍太教授の研究室が全七日間かけて行う「発掘調査」に参加。宮古島市の有形文化財に登録されている「イスウガー・クスヌカー」とよばれる井戸を調査・整備するため、道なき道を行きます！



—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 担当：増田・五月女（ますだ・そとめ）
TEL：03-5984-3813 E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

